

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【公開番号】特開2012-49787(P2012-49787A)
 【公開日】平成24年3月8日(2012.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報2012-010
 【出願番号】特願2010-189465(P2010-189465)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 48/16 (2009.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 0 3

H 0 4 Q 7/00 4 0 6

H 0 4 M 11/00 3 0 3

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】
 【提出日】平成25年7月5日(2013.7.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 1】

なお、上述する各実施の形態は、本発明の好適な実施の形態であり、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変更実施が可能である。例えば、通信端末 10、通信端末 20、サーバ 30、アクセスポイント 11 およびアクセスポイント 21 の機能を実現するためのプログラムを各装置に読込ませて実行することにより各装置の機能を実現する処理を行ってもよい。さらに、そのプログラムは、コンピュータ読み取り可能な記録媒体である C D - R O M または光磁気ディスクなどを介して、または伝送媒体であるインターネット、電話回線などを介して伝送波により他のコンピュータシステムに伝送されてもよい。また、各装置の機能が他の装置によりまとめて実現されたり、追加の装置により機能が分散されて実現される形態も本発明の範囲内である。なお、3 G は無線 W A N (W i d e A r e a N e t w o r k) 通信規格の一例であって、W - C D M A (W i d e b a n d - C o d e D i v i s i o n M u l t i p l e A c c e s s) 、 L T E (L o n g T e r m E v o l u t i o n) など他の無線 W A N 通信規格に置き換えても同様に実施可能なことは言うまでもない。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の通信インタフェースを備える発信元端末と、複数の通信インタフェースを備える発信先端末とを有する通信システムであって、

前記発信元端末は、前記発信先端末が前記複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで自発信元端末と通信可能なエリアに存在するか確認する発信先エ

リア情報確認手段と、

前記発信先エリア情報確認手段により存在すると確認された場合、前記複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースを選択して前記発信先端末との通信を開始する通信インタフェース選択手段とを備えることを特徴とする通信システム。

【請求項 2】

前記発信先端末は、前記複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで前記発信元端末と通信可能なエリアに移動した際に、前記発信元端末と通信可能なエリアに移動した旨を前記発信元端末に通知する手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の通信システム。

【請求項 3】

さらにサーバを備え、

前記発信先端末は、前記複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで前記発信元端末と通信可能なエリアに移動した際に、前記発信元端末と通信可能なエリアに移動した旨を前記サーバに通知する手段を備え、

前記発信元端末の発信先エリア情報確認手段は、前記サーバに対して前記発信先端末が前記複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで自発信元端末と通信可能なエリアに存在するか確認することを特徴とする請求項 1 記載の通信システム。

【請求項 4】

前記複数の通信インタフェースは、無線 LAN 通信および無線 WAN 通信であり、

前記優先度の高い通信インタフェースは、前記無線 LAN 通信であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の通信システム。

【請求項 5】

発信先端末が複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで発信元の自通信端末と通信可能なエリアに存在するか確認する発信先エリア情報確認手段と、

前記発信先エリア情報確認手段により存在すると確認された場合、複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースを選択して前記発信先端末との通信を開始する通信インタフェース選択手段とを備えることを特徴とする通信端末。

【請求項 6】

前記複数の通信インタフェースは、無線 LAN 通信および無線 WAN 通信であり、

前記優先度の高い通信インタフェースは、前記無線 LAN 通信であることを特徴とする請求項 5 記載の通信端末。

【請求項 7】

発信元端末により、発信先端末が複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで発信元の自通信端末と通信可能なエリアに存在するか確認する発信先エリア情報確認ステップと、

前記発信先エリア情報確認ステップにおいて存在すると確認された場合、複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースを選択して前記発信先端末との通信を開始する通信インタフェース選択ステップとを有することを特徴とする通信方法。

【請求項 8】

前記複数の通信インタフェースは、無線 LAN 通信および無線 WAN 通信であり、

前記優先度の高い通信インタフェースは、前記無線 LAN 通信であることを特徴とする請求項 7 記載の通信方法。

【請求項 9】

発信元端末に、発信先端末が複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースで発信元の自通信端末と通信可能なエリアに存在するか確認する発信先エリア情報確認処理と、

前記発信先エリア情報確認処理において存在すると確認された場合、複数の通信インタフェースのうち優先度の高い通信インタフェースを選択して前記発信先端末との通信を開始する通信インタフェース選択処理とを実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

前記複数の通信インタフェースは、無線 L A N 通信および無線 W A N 通信であり、
前記優先度の高い通信インタフェースは、前記無線 L A N 通信であることを特徴とする
請求項 9 記載のプログラム。